

## 会 議 録

会議名称	第4期幸区区民会議 第6回専門部会（みんなで見守りたい）
日時	平成25年4月22日（月）18時30分～20時30分
会場	幸区役所 5回第2会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（50音順） 神谷美和委員、古場敏光委員（部会長）、酒井清委員、鈴木忠夫委員、鈴木都委員、原紀代子委員、檜林照江委員、春田公江委員、村田清子委員（副部会長）、遊佐栄津子委員</li> <li>●事務局 幸区役所 福芝康祐副区長 まちづくり推進部企画課 今村健二課長、加藤剛史係長、早川智文担当 株式会社計画技術研究所 佐谷和江</li> <li>●関連課 地域保健福祉課 中谷課長、高齢・障害課 大城係長</li> </ul>
欠席者	戸張一吉委員
傍聴者	0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●議事次第</li> <li>●資料1 区内で見守り活動を実施する団体へのヒアリング調査の結果報告と今後の調査審議について</li> <li>●資料2 ヒアリング調査結果</li> <li>●資料3 町内会・自治会の「見守り活動」に関するアンケート</li> <li>●資料4 第4期幸区区民会議 平成25年度スケジュール</li> <li>●参考資料 幸区における主な「見守り」の取組について</li> <li>●古場部会長提案資料</li> </ul>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区内で見守り活動をする団体へのヒアリング調査の結果報告と今後の調査審議について</li> <li>2 その他</li> </ol>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見守りの対象者等を決定 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎対象者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、75才以上</li> <li>・ひとり暮らしで、出て来られない人 (知っていてほしいと考えている。声かけするかどうかは本人の意向による)</li> <li>・平常時</li> </ul> </li> <li>◎目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤独死を未然に防ぐ</li> </ul> </li> <li>◎方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・向こう三軒両隣の方など近くの人が見守る</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●今後の進め方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアがある人が箇条書きで出し、それをもとに議論する。</li> </ul> </li> </ul>

<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>1 区内で見守り活動をする団体へのヒアリング調査の結果報告と今後の調査審議について</p> <p>(1) ヒアリング調査について</p> <p>資料1、2に基づき事務局から説明した。</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区社協は今までにないことをやり、具体的な活動は地区社協にまかせている。区社協の情報提供の方法などは課題があると思った。</li> <li>●会食会は目新しいことはなかったが、続けてほしいと思った。会があるのに手が届かない人に手を届けることが区民会議の議論の趣旨だと思っている。</li> <li>●元気がいい人が多いことに驚いた。</li> <li>●地域のボランティアがいなくてできないと思った。ボランティアの層を厚くしたら助かる人がいるだろう。地域によって偏りがあるのではないか。</li> <li>●自分の地区で参加したが、来ている人が決まっている。来ない人をいかに引っ張りだすか。</li> <li>●誤嚥など、何かある時に措置はしているか。→保健師さんが来ている。料理は細かく切っている。</li> <li>●御幸東地区は、個々の町内会で会食会を実施しているが、御幸西地区ではまとまって実施している。会食会は6回やらないと区社協の補助金をもらえないシステムになっており、一町内会で実施するのはボランティアが大変だと思う。</li> <li>●長続きするやり方が重要だと思う。→食事だけでなく、お茶菓子の会もやっている地区もある。季節感を出すようにしている。</li> </ul> <p>(2) 町内会・自治会の「見守り活動」に関するアンケート（途中経過）について</p> <p>資料1、3に基づき事務局から説明した。</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●町内会長が回答しているのか。→様々である。町内会の活動がわかっている方をお願いしている。次回の部会では回答が揃うと思う。</li> <li>●アンケートの回答は何に活かしていくのか。→熱心な町内会、自治会を把握し、これをもとにヒアリングしたい。</li> </ul> <p>(3) 今後の調査・審議について</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <p>(見守りの対象について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●部会はあと6回しかない。調査で終わってしまう気がする。課題解決の方法を検討しないといけないのではないか。</li> <li>●部会は調査、審議し、問題に対して指針を出す。しっかりした調査をやるべき。例えば、食事会にはどのような効果があるか、また、カバー率はどれぐらいか、カバー率を増やすとすると誰が支えるか、増やすためにはど</li> </ul>
------------------------------	---

うすればいいかを考える。

- データで把握することも必要とは思いますが、地域によって事情は違うと思うので、個々のことに特化して考えていく方法はないのか。
- 区社協は地区社協に考えてもらうというスタンスだが、区社協はアドバイスする役割があるのではないか。
- すでに地区社協同士のネットワークがある。身近なところで見守るネットワークづくりが必要ではないか。
- 会食会がうまくいっているところは問題ない。それができないところや将来をどうするかが我々の役割である。
- 遠い将来ではなく、今のことを考えるべきではないか。委員だけでなく、みんなで見守ろうよというのが姿ではないか。
- この部会では見守りをやっていくことになった。それで、現状を把握することになり、不足しているところをやっていくのではないか。
- 高齢独居をどう探して、どう援助するか。
- もう見守りの対象はわかっている。自殺や被害死、事故死は除外する。また、高齢者独居や人との関わりを好まない人を対象とする。
- 災害時を想定するか。→平常時に限定していいと思う。
- 対象を絞り、その後プラスアルファしていけばいいのではないか。
- 孤独死、孤立死になる前に助ける手段があると思う。それを考えたい。
- 対象者は高齢者、一人で生活している人、平常時。この人たちを出てくるようにするにはどうするか。
- 個人情報があるので、民生委員も75歳以上の一人暮らしの高齢者しか把握していない。それ以上は、個人情報の開示が必要である。
- 介護保険を申請している人は見守りされているので除外する。
- 隣の人のつながりをつくるのが大事だと思う。向こう三軒両隣をどうするか。
- 高齢者側からすると大げさに騒がないでほしい、一人で大丈夫という意向の人もある。近隣が一人暮らしであることを知っているだけでもいい。(進め方について)
- ワーキンググループをつくりたい。今後は見守りのための具体的なサービスについて考えたい。
- 対象が決まったので、部会だけでできるのではないか。
- 自分の考えをそれぞれが次回までにまとめ、議論すればいいのではないか。
- 見守りをどうやればできるか、アイデアを出して地域に聞いていく。それが調査検証となる。
- 参考資料の表に書いている事業の実態を知りたい。→役所で現状を把握している。
- 見守りのためのアイデアを、すでにみんな考えていると思う。それを簡条書きにして出してはどうか。

- 私は見守りを知らなかったなので、皆様のご意見をたくさん伺いたい。ワーキンググループでなく、都合つく人で集まってはどうか。
- ワーキンググループはつくらず、その都度、日程を決めていく。

## 2 その他

### (1) 部会名称について

- 「みまもり」をひらがなにする案が出ていたが、従前のおり漢字とする。

### (2) 次回について

- 第7回の部会は5月29日。見守りに関するアイデアがある人は箇条書きにして提出する。

以上